



2018-2019年度

会長 川岸 芳雄

幹事 仙丸 和幸

出席報告

本日出席 18人
 欠席 14人
 出席率 57.00%
 3162回のメイクアップ 0人
 3162回の出席率 80%→80%

ポール・ハリス・フェロー

寄付者に対する

認証記録伝達

川岸会長から青山君へ



会長挨拶

ロータリー情報などは、紙からインターネットが主流になってきた。

パソコン等を活用できない会員の対応が急務と考える。



卓話「私の5月15日」 杉野 芳宏 君



私は、5月15日に兵隊に入隊しました。大阪駅に親・兄弟に見送りに来ていましたが、憲兵の笛一つで、プラットホームに向かいました。着いたのが相模原の海軍航空隊です。途中の横浜駅は爆撃を受け焼け野原でした。軍隊は、「人間性」がなく大変な思いをしました。

私の手帳には、5月15日に印が付けてあります。私だけが知る印です。今日の日本は豊かで、戦争に行くことなく本当に良い世の中になったと思います。私の子供時代は衣食住の中でも、特に「食」がひどかった。

当時は、失業者が多く歌にもある「包丁1本 晒に巻いて」にもある渡り職人がいるほど仕事がなかった。

父親は神戸の鉄工所に務めていて、1936年11月に独立し現在の会社になりました。

人間のご縁は面白いもので、最初に手掛けたものが色々な物を考えていくものと思います。

最後に

何故、アメリカと戦争したか

いまだに分かりません。





会長挨拶

北鬼江海岸の整備事業の進捗状況は、6月5日芝張り完了。

6月7日、当クラブの見学会。

6月中旬、県土木センター植樹場所等の最終調整します。

出席報告

本日出席 22人
欠席 10人
出席率 70.00%
3157回のメイクアップ 1名
3139回の出席率 64%→67%

また、初開催する小学生英語スピードコンテストについては、市長、教育長を訪問し改めて出席をお願いしてきた。

6月11日開催される校長会での説明の場を設けていただいた。特に教育長からは、県内初の事業と思うので成功させていきたい。

ニコボックス報告

大城 道雄 君

この度の叙勲は、皆様のおかげです。

私の遅刻・早退を寛大にお許し下さっていること深くつなっています。

卓話 藤井 文祥

「電気事業の歴史から考えるエネルギー問題」

北陸の電気事業の歴史から現在抱えているエネルギー問題

①地域経済に灯りを点した先輩

金岡又左衛門 (1864~1929) 30歳から4期9年間衆議院議員として、将来の大蔵大臣の呼び声が高かった。富山電燈株式会社の設立と電源開発に注力。

その後の建設ラッシュにより、電気王国の評判が定着した。

山田昌作 (1890~1963) 日本一豊かで安い電力により富山県の工業誘致を手がけたほか、1941年に北陸電力圏の存続を政府に認めさせた。

②富山の電気事業の始まり

1894年富山市の博覧会会場で点灯

1899年大久保発電所から富山市内に送電開始



北陸の電気事業は各変化に対応して来たが、今後はエネルギーの安定確保が不可欠と思う。

